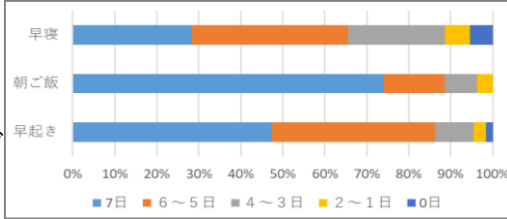


文字が多いですが、最後まで読んでいただけますと幸いです

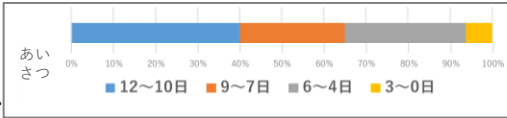
## ◆ Iファミリー・Iコミュニティの取組ありがとうございました◆

8月29日～9月4日の「早寝早起き朝ご飯」。10月30日～12月1日の「あいさつ」「家庭読書」「ノーゲーム、ノースマホ、ノートタブレット」。これらをまとめて「Iファミリー・Iコミュニティ」としてご家庭、地域の皆様とともに取り組んできました。御協力ありがとうございました。提出された記録表をもとに、一貴山小学校の子どもたちの傾向を分析します。

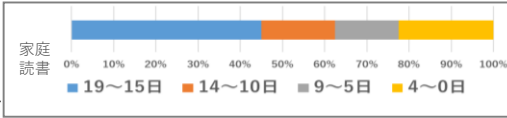
■早寝・早起き・朝ご飯(全7日間)【131名提出】  
早起きと朝ご飯は、多くの子どもが実践できています。特に、毎日食べている子どもが多かったです。早寝は、習い事などの関係で難しい子どももいるようですが、自分の生活のスタイルによって就寝時間を家族で話し合うと良いですね。なお、小学生の望ましい睡眠時間は9～11時間とされています。もう一つ気になるのは、朝ご飯を食べることができていない子どもがいること。一日のエネルギーを蓄えるためには大切です。



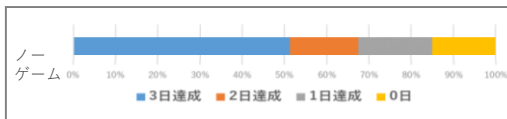
■あいさつ運動(全12日間)【80名提出】  
半数以上の子どもたちが「自分から」「相手に届く声で」「だれとでも」あいさつができています。地域の方からも「子どもたちのあいさつで元気をもらっています」とのお声を聞きます。続けてほしいです。



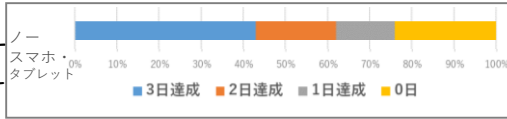
■家庭読書(全19日間)【80名提出】  
半数以上が家庭読書に取り組むことができています。中には、「この期間には十分取り組めなかったが読書を始めるいいきっかけとなった」との感想もありました。「読書で心に栄養を」ぜひ蓄えてほしいです。



■ノーゲーム(全3日)【80名提出】  
期間中の特定の3日、半数はノーゲームを実施できました。ただ、一日も実施できなかった子どもも約1割。



■ノースマホ・ノートタブレット(全3日)【80名提出】  
期間中の特定の3日、4割超の子どもがノースマホ・ノートタブレットを実施できました。一日も実施できなかった子どもは2割超。なかなか手放せないようです。



スマホやタブレットなどICT機器は、わたし達もそうであるように、生活に必用不可欠のものとなっています。「全く使わない」ということではなく、「適切な時間、適切なことに使うこと」が大切です。これを機会にそれぞれのご家庭で、「使っても良い時間」や「どういうことに使うか」「どういうことには使わないか」などを話し合い、話し合っただけで決めた約束を守ることに取り組んでいただくことが大切だと思います。約束やきまりを守ることは社会生活でも大切な力です。

## ◆おとなからの「ありがとう」◆

「Iファミリー・Iコミュニティ」の取組と一緒にいった「おとなからの『ありがとう』」。期間中、下校のようにたくさんのエピソードが寄せられました。子どもたちの言動が、たくさんの人を温かい気持ちにしたり、元気を与えたりすることができています。これらのことを聞いたわたしも全校のみならずともいい気持ちになっています。このような素敵な取組。

取組期間は終了しましたが、今後も「おとなからの『ありがとう』」の取組を続けていきます。

- 一貴山コミュニティセンター、一貴山小学校事務室前にポストを設置しています。エピソードカードの記入、投函をお願いします。
- エピソードカードは、投函ポスト横に置いています。また、一貴山小学校ホームページにも掲載しています。
- QRコードを読み取りオンラインでも受け付けています。右のQRコードから入力画面に移動できます。

おとなから「ありがとう」の取組のお願い

**目的**  
子どもの善行を褒めることを通して、子どもの自尊感情を高める。

**内容**  
子どもの行いにより心が温かくなったときに、感謝の言葉や賞賛の言葉をかけたり、エピソードをカードに書いて学校・コミュニティセンターに設置したポストに投函したりする。または、右下QRコードから入力する。

【エピソード記入カード】

おとなからの「ありがとう」エピソード記入カード

○お名前( ) 行政区名( )

○エピソード

たれが、いつごろ、どこで、どのような行いをしていたか  
伝えたい言葉などを教えて下さい。

【QRコード】



〈記入例〉  
・小学3年生の〇〇さんが落ちていたゴミを拾ってくれました。ありがとう。  
・低学年の児童が、毎日元気に挨拶してくれます。ありがとう。  
・高学年の女の子が、下校中、横断歩道で振り向いてお辞儀をしてくれました。さわやかな気持ちになりました。ありがとう。

〈エピソード記入カード、投函ポストの設置場所〉  
・一貴山小学校事務室前 一貴山コミュニティセンター入口  
※カードは、学校ホームページ(お知らせ)おとなからのありがとうにも掲載しています。  
<https://www.city.itoshima.lg.jp/k012/020/20231031171958.html>

★学校に届いたエピソードは給食時間に紹介します。

○深江コミュニティセンターで行われた文化祭の時。エレベーターのドアが開いた時にわたしの目の前に子どもが二人。「こんにちは。一貴山小の先生ですよね」と声をかけてくれました。とてもいい気持ちになりました。ありがとう。

○学校から帰るといつも一番に「ただいま。お手伝いしない？」と聞いてくれます。「お風呂掃除かな？」と言うと「うん。わかった」と言って洗ってくれます。いつも助かっています。ありがとう。

○カントリーで見守りをしています。毎日学校へ行く子どもたちが元気なあいさつをしてくれ、いつも元気をもらっています。一日がんばろうという気持ちになります。ありがとう。

○マラソン大会の日の下校中、下級生の男の子が横断歩道で止まったので、わたしが譲ってあげると、渡る前と、渡った後に頭を何度も下げてお礼をしてくれました。こちらも、凄く温かい気持ちになりました。ありがとう。

○車で一時停止した時、丁寧にお辞儀をしてくれました。とても嬉しかったです。ありがとう。

○低学年児童が、横断歩道を渡った後、振り向いて深々とお辞儀をしていました。とても素晴らしいことだと思います。ありがとうございました。

○高学年の子が道を譲ってくれた車にお礼を言って綺麗にお辞儀していて素晴らしかったです。

○地域の子どもたちが通りすがりに気持ちの良い挨拶をしてくれます。



たくさん「子どもたちへの『ありがとう』」をいただき、ありがとうございます。